

おおわだ たけき  
**大和田 建樹** (1857~1910)



歌人。詩人。国文学者。宇和島城下(現、宇和島市)出身。宇和島藩の藩校・明倫館を経て広島外国語学校(現、広島県立広島国泰寺高等学校)で英語を学び、後に東京大学や私立学校などの講師を務めた。その後、和歌、謡曲、国文学などに関する著作を多数発表するとともに、唱歌の作詞にも多く携わった。特に、「汽笛一声新橋を…」の歌い出しに始まる「地理教育鉄道唱歌」は有名で、全国的に歌われた。また、能の研究家としても、謡曲文の注解・研究の重要性を世に知らしめた。

## 略歴

- 安政4(1857)年4月29日 宇和島城下の丸之内において藩士の家に生まれる。
- 慶応元(1865)年 藩校・明倫館に入り、漢文学や国文学を学び始める。
- 明治9(1876)年1月 広島外国語学校に入り、英語を学ぶ。
- 明治12(1879)年11月 東京に出る。
- 明治16(1883)年 東京大学の古典講習科の講師となる。
- 明治19(1886)年3月 退官。翌4月に高等師範学校(現、筑波大学)の教授となる。
- 明治20(1887)年 詩歌集『詩人の春』を発表し、この頃から国文学関係の著作や唱歌などを数多く発表するようになる。
- 明治25(1892)年 明治女学校(明治42年閉校)で講義を担当する。その後、青山女学院(現、青山学院大学)や跡見学校(現、跡見学園女子大学)などの女学校や、早稲田中学校(現、早稲田中学校・高等学校)などの講師を歴任する。
- 『謡曲通解』刊行
- 明治33(1900)年 「地理教育鉄道唱歌 一」として、「東海道篇」を発行。以後、五集まで出す。
- 明治41(1908)年 「伊予鉄道唱歌」を作る。
- 明治43(1910)年10月1日 54歳で永眠。墓所は東京都港区南青山の青山墓地

(写真提供：宇和島市立中央図書館)

### 〈関連図書〉

- ・昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書 第9巻』 光葉会 1959年
- ・中島幸三郎『鉄道唱歌物語』 交通日本社 1964年
- ・交通博物館・交通科学博物館『鉄道唱歌の旅』 交通文化振興財団 1971年
- ・大和田建樹『伊豫鉄道唱歌(複製版)』 愛媛県立図書館 1973年
- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第11巻 大和田建樹・末広鉄腸・夏目漱石』 愛媛県教育会 1985年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・南海放送サンパーク美術館『愛媛が生んだ国文学者 大和田健樹』 畦地梅太郎記念美術館 1993年

〈主な収蔵資料〉…(P220, 107)

〈ゆかりのある場所〉…(P302, 153~156)